

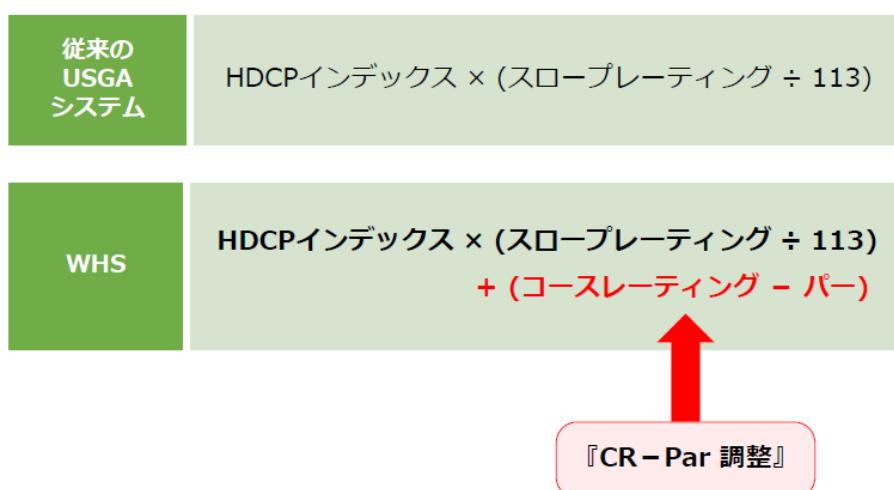
【クラブ競技コースハンディキャップ換算方法システム変更について】

2022年4月1日より財団法人日本ゴルフ協会（JGA）が推奨しているハンディキャップ計算システム「ワールドハンディキャップシステム（WHS）」が日本国内で運用開始されました。

ワールドハンディキャップシステム（WHS）が現状、正式なコースハンディの算出方法となっています。

WHSのコースハンディキャップの算出方法を本千葉カントリークラブの基幹システムに導入することができるようになりました。

■ コースHDCPの計算式



◆WHSのコースハンディキャップの計算式を取り入れた理由は以下の通りになります。

従来のU.S.G.A.システムの場合、コースレーティングに対してのNETスコアーだったため
例として「コースレーティング65」の場合「NET58」でも「-7」ということになります。

ただ、ほとんどのプレーヤーは「Par72」に対しての「NET58・-14」と認識しておりました。

本千葉CCで中コーススタートの場合、BIGスコアが出来やすかったのも、この要因が一部あります。

■ 『CR-Par調整』をコースHDCP計算式に組み込む主な理由

異なるティーを使用した場合のコースHDCP追加調整が不要になる：

従来は、ティー毎のCR差によるコースHDCPの追加調整が必要だった…

- 新しい計算式にはCRが組み込まれているので、ティー毎のCR差による追加調整が必要ない。
- 異なるティーを使用する対戦が、より簡単になる。
- 但し、ティー毎のパー設定が異なる場合は、パーの差で追加調整する。

パーを基準にした方がゴルファーに分かりやすい：

- ほとんどのゴルファーはパーを基準としてプレーするので、パーを組み込んだコースHDCPの方が、ゴルファーの実際の感覚に近づく。

コースHDCPをより細かく表示できる：

- プレーヤーの技量差を、従来よりも細かくコースHDCPに反映することができるので、公平性をより高めることができる。

《 ハンデキャップインデックス比較例 》

・従来の USGA システム

例) ハンデキャップインデックス 15.9

西/東コース 男性

レギュラーティ使用

$$\text{HDCP インデックス } 15.9 \times (\text{スロープレーティング } 120 \div 113)$$

$$= \mathbf{17}$$

・WHS システム

例) ハンデキャップインデックス 15.9

西/東コース 男性

レギュラーティ使用

$$\text{HDCP インデックス } 15.9 \times (\text{スロープレーティング } 120 \div 113)$$

$$+ (\text{コースレーティング } 69.7 - 72)$$

$$= \mathbf{15}$$

WHS システムでの計算方法、コースハンデはこちらでご確認いただけます。

https://www.jga.or.jp/jga/html/handicap/about_j-sys.html

◆変更日

令和 7 年 5 月 18 日(日) 『月例杯』 より変更